

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	国語 A	担当教員	宮口典之	
学年学科	1 年 M・C・A 学科	通 年	必修	2 単位
学習・教育目標	(A-1) 20% (C-1) 80%			
授業の目標と期待される効果： 中学校までの学習成果をふまえ、現代文の能力のさらなる育成を目的としている。 ①漢字や言葉の知識を身につける。 ②論理の展開を理解する。 ③要旨を把握する。 ④描かれている情景及び心理を理解する。 ⑤場面に応じた適確な表現をする。	成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋課題・小テスト 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋課題・小テスト 100 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計した上で、得点率 (%) で成績をつける			
	達成度評価の基準： 教科書レベルでの授業内容の理解について、以下の項目に関する試験・課題に対して 6 割以上の正答レベルまで達していること。 ① 漢字や言葉の知識は身についたか。 ② 随想や評論的文章の論理の展開を理解し、要旨を把握できているか。 ③ 韻文や物語内容を理解し、描かれている情景及び心理を理解できているか。 ④ 場面に応じた適確な表現はできたか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 参考となる資料は、授業時に適宜紹介するので、各自で参照すること。				
教科書および参考書： 高等学校国語総合 現代文編 (中洲正堯他・三省堂 2013 年) 改訂版 入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 (谷本文男・いいずな書店 2015 年) 他に辞書等				
授業の概要と予定：前期				AL のレベル
第 1 回：評論 (1)、漢字の練習 (1)				
第 2 回：評論 (2)、漢字の練習 (2)				C
第 3 回：小説 (1)、漢字の練習 (3)				
第 4 回：小説 (2)、漢字の練習 (4)				C
第 5 回：評論 (3)、漢字の練習 (5)				
第 6 回：評論 (4)、漢字の練習 (6)				C
第 7 回：評論 (5)、漢字の練習 (7)				
第 8 回：中間試験				
第 9 回：随想 (1)、漢字の練習 (8)				C
第 10 回：随想 (2)、漢字の練習 (9)				C
第 11 回：随想 (3)、漢字の練習 (10)				
第 12 回：詩歌 (1)、漢字の練習 (11)				B
第 13 回：詩歌 (2)、漢字の練習 (12)				
第 14 回：小説 (3)、漢字の練習 (13)				C
期末試験				
第 15 回：小説 (4)、漢字の練習 (14)				

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：小説（5）、漢字の練習（15）	
第17回：評論（6）、漢字の練習（16）	C
第18回：評論（7）、漢字の練習（17）	
第19回：評論（8）、漢字の練習（18）	C
第20回：随想（4）、漢字の練習（19）	
第21回：随想（5）、漢字の練習（20）	C
第22回：随想（6）、漢字の練習（21）	
第23回：中間試験	
第24回：小説（6）、漢字の練習（22）	C
第25回：小説（7）、漢字の練習（23）	C
第26回：小説（8）、漢字の練習（24）	
第27回：評論（9）、漢字の練習（25）	B
第28回：評論（10）、漢字の練習（26）	
第29回：評論（11）、漢字の練習（27）	C
期末試験	
第30回：まとめ	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	漢字や言葉の知識に関する問題を、ほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	漢字や言葉の知識に関する問題を、ほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	漢字や言葉の知識に関する問題を、正確に解くことができない。
②	論理や要旨の理解に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	論理や要旨の理解に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	論理や要旨の理解に関する問題を解くことができない。
③	情景や心理の理解に関する問題をほぼ正確（8割以上）に解くことができる。	情景や心理の理解に関する問題をほぼ正確（6割以上）に解くことができる。	情景や心理の理解に関する問題を正確に解くことができない。
④	場面に応じた的確な表現がほぼ正確（8割以上）にできる。	場面に応じた表現がほぼ正確（6割以上）にできる。	場面に応じた的確な表現ができない。